

ご案内

知的オフィス環境推進協議会(SOEPA)

総会および総会講演会

◆日時：2023年6月7日（水）13:30-16:50

◆場所：同志社大学東京オフィス セミナー室

（定員100名ですが、感染対策として80名程度で開催致します）

（東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階）

<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/access/map.html>

◆開催方法：リアル開催（オンライン配信無し）

◆総会：12:00-13:00（メール会員を除く会員のみ、弁当付き）

（会員の方は昼食抜きでお越し下さい）

（総会前にメールで審議事項関係書類を配信しますので、議決事項に関する審議は短時間として、自己紹介時間を30分ほど取りたく、是非、各社1名以上のご出席をよろしくお願いいたします。なお、総会は会員（メール会員を除く）のみの出席です。

13:00-13:30 休憩（名刺交換会）

◆会員用参加申込サイト（メール会員を除く）（申込期限：第一次=5/15、第二次=5/23）

<https://forms.gle/tbJJ4UiuWlMAQkwy6>

◆総会講演会：13:30-16:30（総会講演会は事前申込によりどなたでも無料参加可能です）

メインテーマ：人に寄り添う建築－新しい建築と古い建築の共存－

先端技術は人を阻害するのか、それとも人に寄り添い、これまで以上に人を幸せにしてくれるのか。その答えはAIに求めるのではなく、我々が出さねばなりません。自動車も蒸気機関車も、最初は多くの人に嫌がられました。一方で、夜を無くしたと賞賛された白熱電球はもはや悪者扱いになりました。でも発光体はタングステンフィラメントからLEDに変わりましたが、白熱電球の懐かしさ、暖かさは今でも生き残っています。では、建築はどうでしょう。設計プロセスにコンピューターやAIが入るとしても、人に、活動の機能性とウエルビービングを与える建築物と人の繋がりは100年前も今も変わらないと思います。すなわち、先端的技術の発達は、目指す目的が同じなら、それをどのような方法で達成するかの問題であり、それを見失わないように先端技術を使うのが我々の課題だと思います。

本講演会では、コンピューターを最大限使った建築と、コンピューターなど無かった古い時代に作られた建築の、それぞれの良さを議論すべく企画しました。多くのハードウェアがソフトウェア化する時代において、建築だけはどこまで進んでもハードウェアから離れられない宿命を持っています。建築とは何か、それを考える新たな視点を見つけ出したいと思っています。

-----13:30-13:40

オープニング（会長 三木光範〔同志社大学名誉教授〕）

-----13：40-14:20 講演 1

「ChatGPT など、生成型 AI の登場と働き方改革」

同志社大学名誉教授・知的オフィス環境推進協議会会長 三木光範

概要：AI の新たな形として生成型の AI である ChatGPT や、それに類する革新的な AI 技術が世界規模で進んでおり、我々が行う業務や、生徒・学生の教育において、それらの活用法が模索されている。ここでは ChatGPT の能力と限界について述べ、次に業務における種々の活用方法の現状を述べ、最後に人は何をすべきかについて考える。

-----14:20-15:20 講演 2

「AI 実装元年の、ワークプレイス・オフィスビル・都市のデザインを考える」

株式会社日建設計 チーフデザインオフィサー・常務執行役員 山梨知彦氏

概要：ディープラーニングの発明により近年爆発的進化を遂げてきた AI は、2022 年も後半には高いパフォーマンスと使いやすさを併せ持つに至った。言語生成型の ChatGPT や画像生成型の Stable Diffusion や Midjourney などが、瞬時に世界中で莫大な数のユーザーを引き付け、2023 年は「AI 社会実装元年」となった。こうした状況の中、知的生産の場であるワークプレイス、オフィスビル、都市のデザインがどのように変わるべきかについて、オフィス建築家の視点から提言する。

-----15:20-16:20 講演 3

「歴史をつなぎ生まれ変わる建築を考える～継承設計の取組み～」

株式会社三菱地所設計 エグゼクティブフェロー・博士（工学） 野村和宣氏

概要：文化遺産としての歴史的建造物は、今までは戦前の近代建築が主題であったが、現在は戦後の近現代建築も対象となっている。さらに、独自性のあるまちづくりや建築デザインを考える上では、築 50 年に満たない近過去の建築の価値継承にも目を向けるべきである。一方で、それらの建築の多くは活用なくしては継承することができないものばかりであり、耐震性や火災安全性をはじめとした機能更新や開発との両立が求められる。ここでは、歴史的建造物の唯一無二の価値を後世に伝え、建築に新たな命を吹き込み生まれ変わらせる「継承設計」について、検討フローや実例での取り組みについて紹介する。

16:20-16:30 クロージング（理事長 西村 真〔岡山県立大学客員教授〕）

16:30-16:50 名刺交換会

16:50-17:00 撤収

◆総会講演会参加費：無料

◆総会講演会参加申込（申込期限：第一次=5月15日（月）、第二次=5月23日（火））

なお、定員 80 名に達した場合には期限を待たずに募集を終了致します。

メール会員および非会員の方は、次のサイトからお申し込みをお願いします。なお、一部の企業では Google フォームへのアクセスができない場合があります。その場合は、個人の PC かスマホでアクセスをお願いします。

<https://forms.gle/kuiXLMj7KQZhwgRH9>